時事新報

驛遞局認可　（定價三錢）
明治十八年五月廿八日（西暦一千八百八十五年）　木曜日
第九百八十號　日曜日休刊

時事新報定價（日曜日バカリ休刊）
一枚金三錢○一箇月前金六十五錢○三箇月前金一圓八十錢○六箇月前金三圓四十錢○一箇年前金六圓五十錢○郵便税一箇月金廿六錢一箇年金三圓十二錢○左ニ掲クル各地ニ於テハ郵送無料ニテ配達致候
東京　横濱　横須賀　從神奈川至小田原各驛　大坂　京都　神戸
岡山　廣島　和歌山
其他鐵道近傍配達便宜ノ個所ハ同シク郵送料不申受候

時事新報廣告料（前金）
○二日以上六日間以內一行ニ付一日分金八錢、十一行ヨリ三十行迄一行ニ付一日分金七錢、三十一行ヨリ五十行迄一行ニ付一日分金六錢五厘、五十一行以上何行ニテモ一行ニ付一日分金六錢、但シ六日間以上者ノ分ハ定期一割引、十五日間以上同斷同一割五歩引、三十日間以上同斷同二割引
○一日限廣告一行ヨリ十行迄一行ニ付一日分金十錢、十一行ヨリ三十行迄同金九錢、三十一行ヨリ五十行迄同金八錢、五十一行以上同金七錢

公報

東京圖書館

○海軍省達丙第二十八號　海軍一般
横須賀鎮守府所轄雷電艦自今航海練習艦ト定メ若火夫練習爲致候條此旨相達候事
明治十八年五月廿七日　海軍卿　伯爵川村純義

○司法省告示甲第四號
明治十七年太政官第百二號達ニ基キ判事登用ノ爲メ當省ニ於テ來ル八月一日ヨリ試驗擧行候ニ付テハ同達第六條試驗ノ科目ハ左ノ如シ
日本刑法　日本治罪法　財產法　契約法　證據法
右告示候事
明治十八年五月廿七日　司法卿　子爵福岡孝弟

賞勲

○明治十八年四月七日
叙勲三等賜旭日中綬章　歩兵大佐從五位勲四等　阿武素行
叙勲四等賜旭日小綬章　歩兵大尉正七位勲五等　伊東祐直
仝　仝　仝　高山則通
仝　仝　仝　手嶋孝基
仝　仝　仝　中谷重温
仝　仝　仝　金子恵至
仝　仝　仝　佐藤吉徳
仝　仝　仝　丸井政亞
仝　仝　仝　山田廷通
仝　仝　仝　藤井高雅
仝　仝　仝　時澤義實
仝　仝　仝　富永武利
仝　仝　仝　八田知行
仝　仝　仝　宮崎政光
仝　仝　仝　橋本昌世
仝　仝　仝　伊藤元啓
仝　歩兵少佐從六位　仝　田邊爲成
仝　歩兵大佐正七位　仝　飯島順之
仝　歩兵少佐從六位　仝　富岡三造
仝　會計監督補正七位　仝　堀忠次
仝　歩兵大尉　仝　石川昌彦

○明治十八年五月廿五日
參議兼宮内卿從三位勲一等　伯爵伊藤博文
瑞典國皇帝陛下ヨリ贈與シタルワザ第一等勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許候事
侍從長正二位勲一等　侯爵徳大寺實則
瑞典國皇帝陛下ヨリ贈與シタル北極星第一等勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許候事
宮内少輔兼皇后宮大夫正五位勲三等　香川敬三
瑞典國皇帝陛下ヨリ贈與シタルワザ第二等勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許候事

時事新報

経濟法自然ノ運行ハ不景氣ヲ救フニ足ラズ（前號ノ續）

米ハ乎キニ就キ物價ノ廉ナルハ需用ヲ招シ、今日ノ不景氣ニ際シ物價既ニ非常ニ下落スレバ此品々ハ忽チ其商路ヲ海外ノ市場ニ見出シ廣ク世界ノ需用ニ訴ヘテ大ニ利スルコトアルベキニ日本ノ農工商社會ニ向テ此自然法ガ其力ヲ逞ウスルコト能ハザル次第ハ第一國内運輸ノ便ニ乏シクシテ有無相通スルノ法完全迅速ナラズ日本ノ物價廉ハ則チ廉ナルニ相違ナシト雖ドモ大ニコレヲ輸出シテ文明世界ノ需用ニ應スルノ工風ナシトノ事ハ既ニ前章ニ論述シタリ

第二日本ノ産物ハ文明世界ノ用ニ適セザル事　日本國内ハ何様ノ廉價品アルトモ唯運輸ノ便ニ乏シキガ爲メニ何分ニモコレヲ天下ノ市場ニ持出シテ廣ク世界ノ需用ニ訴フルコト能ハズトハ既ニ前章ニ論シタル通リナレドモ今議論ノ便利ヲ謀リテ仮リニ一歩ヲ退キ日本國内ノ運輸ノ便ハ目下甚ダ完全迅速ニシテ且ツ廉ナリ物價ノ一高一下忽チ全國ニ其平準ヲ得ルノ仕組十分ナリト定ムルモ矢張リ日本市場ノ廉價品ヲ取テ直チニコレヲ文明世界ノ市場ニ賣込ムベキ工風ナキヲ如何セン抑モ日本ノ産物中ニ就キ重立チタルモノヲ擧クレバ米、麥、豆茶、紙、生糸、海草、海魚、陶器、磁器、漆器、銅器、絹織物、木綿織物、酒、醤油、味噌等ニシテ其器具ノ形狀製造ノ仕方等モ悉皆日本人ノ衣食住ニ適當スルモノニシテ日本人ノ生活ニハ必用欠クベカラザル品々ナリト雖ドモ如何セン天下多數ノ文明國人等ハ斯ル日本流ノ品々ヲ使用スルニ慣レズ博多ノ帯意氣ナリト雖ドモ以テ巴里美人ノ腰ヲ纒フベカラズ數寄屋ノ帷子涼シト雖ドモ倫敦子女ノ夏服ニ適セズ伊丹ノ銘釀日本男兒ヲ醉ハシムベキモ紐育ノ夜會ニ食卓ヲ飾ルニ足ラズ鯉ノ濃汁下戸上戸ヲシテ舌打チセシムベキモすーぷノ代用ヲ爲スコト能ハズ況ンヤ下駄傘膳椀鍋釜鐵瓶土瓶火鉢箪笥障子疊枕箸箱ノ類ヲヤ又況ンヤ絞リノ浴衣小紋ノ羽織鼈甲ノ釵簪繪ノ櫛烟管烟草入レ鼻紙入レ甲掛ケ脚掛ケ脚半股引足袋ノ類ヲヤ多數ノ文明國人ハ今日未ダ此等日本ノ製造品ヲ使用シテ衣食住上何等ノ快樂ヲ求ムルノ工風ナモ知ラザルナリ古來日本人ハ東海ノ絶島ニ蟄居シ世界ト其風俗習慣ヲ共ニセザル一種特別ノ國民ナリ此特別ナル國民ノ需用ニ促サレテ發達シタル技藝工業ナルガ故ニ其製造品ハ文明國人ノ用ニ適セザルハ固ヨリ怪シムニ足ラズ唯僅ニ其用ニ適スベキモノハ舊來日本流ノ工藝ヲ以テ當代文明流ノ器物ヲ模造シタルモノニ過ズ此等ノ新模造品中日本人ノ使用ニ供スベキモノハ杖蝙蝠傘靴椅子卓子等ニシテ是レモ普通ノ日本人ノ使用スルモノニアラズシテ唯近來少シク其衣食住ヲ歐米風ニ擬シタル開化紳士ノ嗜好ニ投スルモノタルニ過ギザレバ其量固ヨリ甚ダ少ナク到底今ノ日本ノ製造品中ニハ内外普通用ノモノ至ク無シト云テ敢テ其實ヲ誤マラザルベシ日本製造品ノ世界ノ需用ニ適セザルコト斯ノ如シ然ラバ則チ其未製品ハ如何ト云フニ日本第一ノ產物ハ米ナリ此米日本人ニハ生活上第一ノ關係ヲ有スルモノナレドモ文明國人ニハ格別深キ縁ヲ有セズ隨テ文明國ノ市場ニハ米ノ需用甚ダ少ナクシテ且ツ緊急ナラズ到底米ヲ賣リテ日本ノ富ヲ増スノ望ミアルベカラザルナリ唯目下最モ文明國人ノ需用ニ適スルモノハ生糸ト茶ノ二品ナレドモコレ迚モ純粹ノ未製品ニアラズシテ幾分カ半製造品タルノ性質ヲ帶ルガ故ニ曝ク既ニ内外人ノ嗜好ヲ異ニシ海外輸出ノ生糸茶ハ必ズシモ内國需用ノ品ト其製法ヲ同一ニセズ一切ノ茶生糸悉ク皆輸出ニ適スルモノニアラザルナリ然レドモ此等ノ小異同ハ實ニ些細ノ故障ナリトシ日本全國田モ畑モ今月今日ヨリ悉ク桑園茶園ニ改マルノ工風モアラバ兎モ角モナレドモ今日桑茶ヲ植付ケテ其成木ヲ三五年ノ後ニ期スル内ニハ今ノ不景氣ハ十分ニ其威ヲ恣ニシ飢渇以テ死ヲ迫リ桑茶ノ持主ヲシテ此世ニ在テ其成木ヲ見ルノ樂ヲ得セシメザルコトナランノミ桑茶既ニ今ノ救急ノ用ニ適セズトセバ他ノ新物產ヲ興シテ徐ロニ富ヲ作ラントスル諸策ノ迂ナル固ヨリ言フニ及バザルナリ是ニ因テコレヲ觀レバ目下我邦製茶ノ人民ノミハ經濟法ノ運行ニ依頼シ今ノ文明世界ニ處シテ差支ナシト雖ドモ他ノ一般ノ日本農工商業者ハ能藝アルモ物品アルモ其市場ハ狭キ日本國內ニ限リテ廣ク要用ヲ世界ニ求ムルノ工風ナク今日ノ如キ全國全般ノ不景氣ニ際シテハ唯實ヲ抱テ空シク飢渇ニ泣クヨリ外ニ一個ノ妙策ナキコト明白ナラン

以上論述スル如ク經濟法自然ノ運行ニ依頼シテ今ノ日本ノ不景氣ヲ救ハントスルニハ國內ノ廉價品ヲ海外ノ市場ニ輸出シテ以テ生氣ヲ喚起スノ外ニ工風ナキモノナルニ扨此輸出ヲ企テントスルニ當リ第一ニハ國內ニ運輸ノ便乏シクシテ有無相通スルコト能ハズ第二ニハ好シ內國ノ物品ヲ海外ニ輸送スルノ便利ヲ得タリトスルモ今ノ日本ノ產物ハ文明國人ノ需用ニ適セズ左ラバトテ舊產物ヲ廢シテ新產物ヲ興シ舊技ヲ棄テ、新藝ヲ學バントスルモ到底目下飢渇ノ急ノ間ニ合ハズ然ラバ則チ國民永久ノ計ニハ何様ノ工風モアルベキナレドモ今目前ニ差掛リタル不景氣救治ノ問題ニハ經濟法ノ自然運行ヲ特ムノ策甚ダ不適當ナリト云ハザルヲ得ズ依テ我々ハ更ニ一歩ヲ進メ人爲ノ工風ヲ以テ今ノ不景氣ヲ救フノ策ヲ講セザルベカラズ

雑報

○山田司法卿　は去る廿三日鳥取を發し同廿四日豊岡に着されたり

○野津中將　廣島鎮臺司令官野津陸軍中將は昨廿七日出發赴任したり

○森文部省御用掛　は一行と一昨廿六日廣島に向ひ愛媛と出發したり

○本願寺法主　東本願寺法主大谷光勝師と子息光演師と共に此程東京を發し歸山の途に上りたるが去る廿四日靜岡に一泊したる時は光演師は麻疹病に罹り居たりしに病を推して歸途に就きたりと靜岡よりの報知に見えたり

○李鳳苞氏　前駐歐洲五國駐在李鳳苞氏も本國へ出發を二周間延引したりしが來る十六日發の汽船モンゴリヤ號にてヴエニス(伊太利)へ去るよしと四月十日の英國新聞に見えたり

○カンボヂヤ及び東京の地理測量　佛國有名れ技術師スエイス氏はカンボヂヤ及び東京の地勢と測量し同所に鐵道と敷設する事に就き本國へ報告するの目的を以て本月廿日頃佛國を出發するならん氏は最初カンボヂヤに赴き其所の用向を濟まして后東京に行くなるべしと四月十日のロンドン チヤイナ エキスプレスに見ゆ

○裁定の限りに非ず　曩に高知縣會議長より參事院へ審理裁定と仰ぎたる件は去る廿五日同院より裁定の限りに非ざる旨を達したるやの噂あり

○伏見分營　大坂鎮臺にては步兵第廿聯隊第二大隊第二中隊を新設しゐる上で同聯隊第一大隊と伏見營所に分遣する都合なりと云ふ

○聯合兵事會議　去る十五日より大坂鎮臺に於て開會したる大坂近傍各府縣の聯合兵事會議は始め一週間と

經て閉會の見込な
べきあまたりと
○山林小話會　大
今每年二回の大
する爲め雜誌と刊
○京都商區聯合會
で會合と要する
く通常會として
を定め每年経理
さりと
○葛飾衛生會
會と開く由にて東
永島貞、石川清
すると云ふ
○小學教員學力檢
一日より同府下各
を爲す筈なりとい
○兵庫縣立師範學
五名と來る六月三
○千葉縣近況　千
程同縣商農課長中
產取調の爲なり
りならざる擧動あ
わらそ右い近年不
ず自己の糊口に
事する能はず由て
を遂げ三四名の物
金の借用と依頼し
過するとなからん
までの事ありとい
○信州須坂の通信
信よ生糸製造よ著
の不景氣にも拘は
互に競爭をなし居
場よも優る程の盛
製糸中なるが本月
更に開業の筈あり
四十二棟、千百四
二人なり○本年は
如きハ目下完なが
と例年五月五日以
くこの頃より出穫
霜なりしが爲め牧
人民の痛心少なか
本日頃より擶き立
ある上高井郡高梨
手當をあせしが爲
今二眠よ至りさり
ある者と去る五日
に決したり該會頭
氏が撰擧されたり
いゝいゝ
も途ゐ飯擧わりと
○情死　一昨廿六
精地の小高き場所
とも苦し氣に呻き
も近き見るば情死
五歳位なるべく女
るは死後迄情と纒
拭もて口と結ひ兩
りて兩人共出及ひ
男ハ媒が死痴れす